

科目概要

科目名	「地域企業(自治体)お題解決プログラム」(前学期)
<p>授業内容 と方法</p>	<p>国内における人口減少や高齢化等に伴い、これからの地域社会は大きく変化することが予想されます。その社会変化は「未だかつて日本が経験をしたことがない未曾有の時代」とも表現され、これからは企業や自治体もその未曾有の様々な課題に対応しながら存続や生き残りをかけていくことが求められます。企業においても、今後は益々地域社会との結びつきが求められるようになると予想されます。そのような中では当然のことながら、人材に求められる能力や資質も変わり、いかに変化の中で課題を見つけ、多様な人材を結びつけながら解決に向けた行動ができるかということが、これまで以上に求められています。</p> <p>本科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループとして活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとしています。</p> <p>授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下、課題解決等についての知識や情報を得るための座学と実践(フィールドワーク)とを組み合わせ進め、最終的に課題解決に向けた提案を行います。</p> <p>なお、本科目はシンクタンクでの地域課題解決やまちづくり等の調査研究の経験のある教員が授業を担当します。また、本科目の授業方法は、学生と社会人が協働でディスカッションやグループワークに取り組むアクティブラーニングを基本とします。</p>
<p>授業計画</p>	<p>□毎週木曜日第6時限に開講する Zoom を用いたオンライン授業を基本に、フィールドワーク(日曜日開催)を加えたハイブリッド型授業です。 □授業のコミュニケーションツールとして「Slack」を用います。 □本科目は中城村との包括連携協定に基づき、同村をフィールドに開講します。</p> <p>木曜日第6時限【18:00~19:30】</p> <p>4/11 (木) 第1回 オリエンテーション(シラバスの解説、遠隔授業ツールの解説)、受講生のアイスブレイク</p> <p>4/18 (木) 第2回 自治体等による講演①・②、それらのテーマの深堀り</p> <p>4/25 (木) 第3回 自治体等による講演③・④、それらのテーマの深堀り</p> <p>5/ 2 (木) 第4回 自治体等による講演⑤・⑥、それらのテーマの深堀り</p> <p>5/12 (日) 第5回 フィールドワーク(地域における実践活動)①【午前の部】</p> <p>同 上 第6回 フィールドワーク(地域における実践活動)②【午後の部】</p> <p>5/16 (木) 第7回 収集した情報の整理(KJ法の講義、Jamboardの使い方)</p> <p>5/23 (木) 第8回 地域課題の抽出①(原因分析の講義、Jamboardで整理)</p> <p>6/ 6 (木) 第9回 地域課題の抽出②(問題点、課題を整理して図示化の講義)</p> <p>6/13 (木) 第10回 課題解決に向けた方向性の検討①(発表の基本構成、5W1Hの講義)</p> <p>6/20 (木) 第11回 課題解決に向けた方向性の検討②(ステークホルダーの講義)</p> <p>6/27 (木) 第12回 中間報告(各チームの発表、各チームへ質問、提案など)</p> <p>7/ 4 (木) 第13回 プレゼンテーション資料の作成①</p> <p>7/18 (木) 第14回 プレゼンテーション資料の作成② 自主活動(企画内容のブラッシュアップ・プレゼンテーションの資料等の準備)</p> <p>7/25 (木) 第15回 最終発表会の開催・講評</p> <p>※1課題当り4~5名のチーム編成を想定しています。 ※チームが取り組むテーマによっては、指定日時以外にも活動に取り組む可能性があります。</p>
<p>その他</p>	<p>地域連携推進機構が取り組む社会人向け科目履修プログラムとして、自治体、NPO法人や企業等の社会人に本プログラムを提供します。</p> <p>また、本学と沖縄県教育委員会との協定に基づく高大連携事業(高校生を対象とした公開授業)として高校生にも授業を公開します。</p> <p>本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための科目履修プログラムの対象科目(選択必修)です。</p>